

合同学術集会

第28回日本ワクチン学会・ 第65回日本臨床ウイルス学会



プログラム・抄録集
日本ワクチン学会 <http://www.jsvac.jp/>



季刊 臨床とウイルス
Vol.52 No.3 Oct.2024
日本臨床ウイルス学会 <http://clvirol.org>

社会医学
ウイルス学
細菌学
感染症学
ワクチン学
臨床ウイルス学
基礎
臨床
製造開発



志を立つるは万事の源為り
多様性を力にして挑む

会期 2024.10/26(土)・27(日)

会場 ウィンクあいち

〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅4-4-38

会長 谷口 清州 第28回
日本ワクチン学会
独立行政法人 国立病院機構 三重病院

西村 直子 第65回
日本臨床ウイルス学会
江南厚生病院 こども医療センター

運営事務局: 株式会社 オフィス・テイクワン

〒461-0005 名古屋市東区東桜一丁目10番9号 栄プラザビル4階B号室
TEL:052-508-8510 FAX:052-508-8540 E-mail:jsvacjacv2024@cs-oto.com

<https://www.cs-oto3.com/jsvacjacv2024/>

ホームページはこちら



合同学術集会

第28回日本ワクチン学会・
第65回日本臨床ウイルス学会

テーマ

志を立つるは万事の源為り
～多様性を力にして挑む

会期 2024.10/26(土)・27(日)

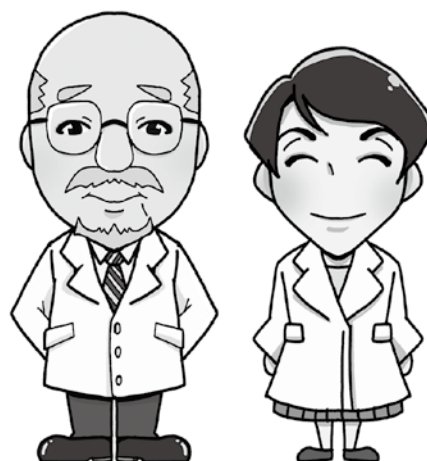
会場 ウィンクあいち 〒450-0002
愛知県名古屋市中村区名駅4-4-38

会長 谷口 清州 第28回
日本ワクチン学会
独立行政法人 国立病院機構 三重病院

西村 直子 第65回
日本臨床ウイルス学会
江南厚生病院 こども医療センター

INDEX

ご挨拶	4
歴代会長	6
プログラム委員会	8
学会行事	9
高橋賞受賞者および受賞研究題名一覧	10
高橋奨励賞受賞者および受賞研究題名一覧	12
参加者へのご案内とお願い	14
発表についてのご案内	16
会場へのアクセス	18
会場案内	19
日程表	20
プログラム	24
抄録	
特別講演	56
シンポジウム	64
予防接種推進専門協議会 共同シンポジウム	88
AMED SCARDA 連携シンポジウム	94
日本ワクチン学会 高橋賞・高橋奨励賞受賞記念講演	100
ランチョンセミナー	104
イブニングセミナー	116
モーニングセミナー	124
合同学術集会若手奨励賞受賞者講演	130
一般演題	134
日本ワクチン学会 賛助会員	210
日本臨床ウイルス学会 賛助会員	211
協賛企業・団体一覧	212



イラスト：さーたり

ご挨拶



第28回 日本ワクチン学会

会長 谷口 清州

国立病院機構 三重病院

今般、第28回日本ワクチン学会・第65回日本臨床ウイルス学会合同学術集会において、日本ワクチン学会としての準備をさせて頂いております。

今般の新型コロナパンデミックでは、人類史上初となる mRNA ワクチンが登場し、最初の8か月で約2,000万人に接種され、これにより240万人の生命を救い、もしワクチンがより公平に配付されていたら、更に67万人の生命が救われただろうと報告されています。一方ではこのような新しい技術を使ったワクチンに対する拒否感もあり、反対意見も沸き起こりました。しかしながら、少なくとも、これらにより世界ではいろんなことが変わりました。これまで使用されてきたワクチンを含めて、いろんな新しいモダリティのワクチンが次々と世に出てきており、それぞれのワクチンの選択肢の幅が大きく広がりました。一方、ワクチン忌避の動きは依然として存在し、現在ワクチンに関しては多くの議論があるところです。

今回の学会では、「多様性を力にして」というテーマ通り、基礎ウイルス学から、疫学、ウイルス感染症の臨床、そしてワクチンの開発、臨床応用、リスクコミュニケーションまで幅広い一般演題をいただいております。これらはすべて口演とさせて頂き、そもそも mRNA ワクチンというのはどういうものなのか、あらためて考えてみようというようなものを含めて、会員みんなで議論出来るようなシンポジウムも各種取り揃えて頂きました。科学的にわかっていること、わかっていないことなどをきちんと整理し、エビデンスをベースとして議論していく過程を楽しんで頂ければ幸いです。

パンデミックでは、専門家と行政、政治間での関係性も課題となりましたが、世界での趨勢は Scientific Independency (サイエンティフィック・インディペンデンシー) です。確固とした科学的なエビデンスを確立し、その上で行政的・政治的な因子を含めて判断していくことであり、また、これは最終的には国民ひとりひとりの生命に係わってくることです。このような健康危機に際しては、もちろん日常的なリスクについても同様ですが、個人個人の Informed Decision (インフォームド・ディシジョン) が尊重されるべきだと考えています。サイエンスに基づいた事実をもとに透明性のある議論を行い、またそれらの過程も含めて適切に共有することが多くの生命を救うことにつながるものと思われまます。

今回の学術集会のテーマとしたように、我々は「Scientific Independency を確立する」という確固たる「志を立て」それを具現化するために、我々の「多様性を力にして」議論を深めていければと思います。みなさまのご参加をお待ちしています。

ご挨拶



第65回 日本臨床ウイルス学会

会長 西村 直子

江南厚生病院 こども医療センター

2024年10月26日(土)～27日(日)に第65回日本臨床ウイルス学会を名古屋で開催させていただきます。昨年に引き続き日本ワクチン学会との合同学術集会として、第28回日本ワクチン学会の会長である国立病院機構三重病院の谷口清州先生とタッグを組むことになりました。一般病院の小児科勤務医である私が、この伝統ある学会を開催させて頂くことは、身に余る光栄なことと感謝しております。日本臨床ウイルス学会は、2008年に愛知県犬山市で第49回(会長：尾崎隆男先生)が開催された際、私が事務局長をさせて頂いた思い出深い学会です。まさか自分に会長の役目が回って来るとは思っていませんでしたが、お引き受けしたからには諸先生方のお力をお借りして実りある学術集会にしたいと思っています。

さて、本合同学術集会のテーマを「志を立つるは万事の源為り ～多様性を力にして挑む」としました。前半は吉田松陰の言葉で、谷口先生に教えて頂きました。改めて志を立て、基礎、臨床、社会医学、製造開発、臨床ウイルス学、ワクチン学、ウイルス学、細菌学、感染症学など様々な領域の学会員の力を結集して目に見えない敵(健康危機)に挑んでいくことを意味しています。表紙デザインの医師が手にしている聴診器が武士の刀のように見えるのは私だけでしょうか。

多様とは言ってもどこかで谷口先生と私に縁のある先生方にプログラム委員をお願いし、プログラムを決定しました。日本臨床ウイルス学会関連のプログラムとしては、特別講演を名古屋大学大学院医学系研究科・研究科長であって小児科学教室の尊敬する先輩でもある微生物免疫学講座ウイルス学分野・教授の木村 宏先生に「Epstein-Barr ウイルス：古くて新しい病原体」と題してご講演頂きます。きっと“From Bedside to Bench and Back Again”の真髄に触れることができると思います。またシンポジウムとして、バイオインフォマティクス、病原体サーベイランス、周産期領域感染症を取り上げております。一般演題はご応募頂いた演題全てを口演発表としましたので、是非とも活発な質疑応答をお願いします。ウイルス感染症は常に私たちの身近にあり、日々変化しております。できるだけ多くの皆様にご参加いただき、臨床ウイルス学の奥深さ、面白さを感じて頂ければ幸いです。

「名古屋に来てちょう、待っとるで！」

日本ワクチン学会 学術集会 歴代会長

第 1 回	(1997.12)	大谷 明	(東 京：ヤクルトホール)
第 2 回	(1998.11)	高橋 理明	(大 阪：千里ライフサイエンスセンター)
第 3 回	(1999.11)	神谷 齊	(愛 知：名古屋国際会議場)
第 4 回	(2000.11)	加藤 達夫	(神奈川：横浜銀行ホール「ヴィアマーレ」)
第 5 回	(2001.10)	蟻田 功	(熊 本：熊本市産業文化会館)
第 6 回	(2002.11)	堀内 清	(千 葉：千葉市文化センター)
第 7 回	(2003.10)	浅野 喜造	(愛 知：名古屋国際会議場)
第 8 回	(2004.10)	富樫 武弘	(北海道：札幌コンベンションセンター)
第 9 回	(2005.10)	奥野 良信	(大 阪：大阪国際交流センター)
第10回	(2006.10)	山西 弘一	(大 阪：全日空ゲートタワーホテル大阪)
第11回	(2007.12)	倉田 毅	(神奈川：パシフィコ横浜)
第12回	(2008.11)	岡 徹也	(熊 本：熊本市民会館)
第13回	(2009. 9)	喜田 宏	(北海道：ロイトン札幌)
第14回	(2010.12)	岡部 信彦	(東 京：九段会館)
第15回	(2011.12)	中山 哲夫	(東 京：日本教育会館)
第16回	(2012.11)	清野 宏	(神奈川：パシフィコ横浜)
第17回	(2013.11)	庵原 俊昭	(三 重：三重県総合文化センター)
第18回	(2014.12)	廣田 良夫	(福 岡：福岡国際会議場)
第19回	(2015.11)	尾崎 隆男	(愛 知：名鉄犬山ホテル)
第20回	(2016.10)	武下 文彦	(東 京：京王プラザホテル)
第21回	(2017.12)	岡田 賢司	(福 岡：福岡国際会議場)
第22回	(2018.12)	森 康子	(神 戸：神戸国際会議場)
第23回	(2019.11)	多屋 馨子	(東 京：都市センターホテル)
第24回	(2020.12)	吉川 哲史	(愛 知：WEB 開催)
第25回	(2021.12)	石井 健	(長 野：軽井沢プリンスホテル ウェスト)
第26回	(2022.11)	五味 康行	(香 川：香川県民ホール(レクザムホール))
第27回	(2023.10)	中野 貴司	(静 岡：ホテルアソシア静岡) ※日本臨床ウイルス学会 合同開催

(敬称略)

臨床ウイルス談話会／日本臨床ウイルス学会 歴代会長

1960	第1回	石田名香雄	(仙台)	1990	第31回	植田 浩司	(福岡)
	第2回	田沢芳三郎	(盛岡)		第32回	牧野 慧	(東京)
	第2回	川名 林治	(盛岡)		第33回	芦原 義守	(東京)
	第3回	中尾 享	(青森)		第34回	磯村 思无	(名古屋)
	第4回	甲野 礼作	(京都)		第35回	栗村 敬	(大阪)
	第5回	松本 稔	(東京)		第36回	山崎 修道	(東京)
	第6回	石田名香雄	(仙台)		第37回	南嶋 洋一	(宮崎)
	第7回	国田 信治	(大阪)		第38回	堺 春美	(箱根)
	第8回	多々谷 勇	(東京)		第39回	千葉 峻三	(札幌)
	第9回	藤井 良知	(東京)		第40回	上田 重晴	(大阪)
1970	第10回	金光 正次	(日光)	2000	第41回	萩野 武雄	(広島)
	第11回	貴田 丈夫	(熊本)		第42回	浅野 喜造	(名古屋)
	第12回	戸谷 徹造	(名古屋)		第43回	中込 治	(秋田)
	第13回	喜多村 勇	(岡山)		第44回	栄鶴 義人	(鹿児島)
	第14回	川名 林治	(盛岡)		第45回	山西 弘一	(大阪)
	第15回	穴戸 亮	(東京)		第46回	永淵 正法	(福岡)
	第16回	加地 正郎	(別府)		第47回	中山 哲夫	(東京)
	第17回	北山 徹	(東京)		第48回	白木 公康	(富山)
	第18回	須藤 恒久	(秋田)		第49回	尾崎 隆男	(愛知)
	第19回	鈴木 榮	(名古屋)		第50回	脇口 宏	(高知)
1980	第20回	沼崎 義夫	(仙台)	2010	第51回	奥野 良信	(高松)
	第21回	高橋 理明	(大阪)		第52回	庵原 俊昭	(津)
	第22回	南谷 幹夫	(東京)		第53回	田中 智之	(堺)
	第23回	日沼 頼夫	(京都)		第54回	寺田 喜平	(倉敷)
	第24回	平山 宗宏	(東京)		第55回	堤 裕幸	(札幌)
	第25回	森 良一	(福岡)		第56回	山田 雅夫	(岡山)
	第26回	橋爪 壯	(千葉)		第57回	細矢 光亮	(福島)
	第27回	藪内 百治	(大阪)		第58回	森内 浩幸	(長崎)
	第28回	角田 行	(仙台)		第59回	沼崎 啓	(埼玉)
	第29回	木村三生夫	(箱根)		第60回	吉川 哲史	(愛知)
	第30回	古川 宣	(金沢)	2020	第61回	齋藤 昭彦	(新潟)
					第62回	河島 尚志	(東京)
					第63回	多屋 馨子	(東京)
					第64回	田中 敏博	(静岡)

※日本ワクチン学会合同開催

(敬称略)

第28回日本ワクチン学会・第65回日本臨床ウイルス学会 合同学術集会 プログラム委員会

落合 仁	落合小児科医院
神谷 元	三重大学大学院 医学系研究科 公衆衛生・産業医学・実地疫学分野
川田 潤一	藤田医科大学 医学部 小児科学
後藤 研誠	江南厚生病院 こども医療センター
五味 康行	一般財団法人阪大微生物病研究会 ワクチン推進部門
菅 秀	独立行政法人国立病院機構 三重病院
菅田 健	独立行政法人国立病院機構 三重病院
野阪 哲哉	三重大学大学院医学系研究科基礎医学系講座 感染症制御医学・分子遺伝学分野
堀場 千尋	国立感染症研究所 病原体ゲノム解析研究センター
安井 善宏	愛知県衛生研究所
吉川 哲史	藤田医科大学 医学部 小児科学

(敬称略・五十音順)

学会行事

■ 日本ワクチン学会 Vaccine 誌編集委員会

日時：10月25日(金) 14:30～15:30

場所：ウインクあいち 7F「展示場 704」

■ 日本ワクチン学会 理事会

日時：10月25日(金) 15:40～17:40

場所：ウインクあいち 5F「小ホール1」

■ 日本ワクチン学会／日本臨床ウイルス学会 総会

日時：10月26日(土) 13:10～14:10

場所：ウインクあいち 第1会場 2F「大ホール」

※合同学術集会 若手奨励賞受賞者の表彰式を行います。

ジョイント企画

■ 日本小児科学会

第5回ワクチン忌避に対する動機づけ面接トレーニングワークショップ(名古屋)

日時：10月26日(土) 16:30～19:30

場所：ウインクあいち 第2会場 5F「小ホール1」

高橋賞受賞者および受賞研究題名一覧

第1回日本ワクチン学会高橋賞(2006年)

神谷 齊 先生

「水痘ワクチンの臨床研究および本邦における各種予防接種の普及啓発活動」

浅野 喜造 先生

「水痘・帯状疱疹ウイルス感染症制御に関する研究」

第2回日本ワクチン学会高橋賞(2007年)

清野 宏 先生

「粘膜免疫学の創成と粘膜ワクチン開発への理論形成」

第3回日本ワクチン学会高橋賞(2008年)

千葉 靖男 先生

「中国でのポリオ根絶計画の推進とポリオフリー達成の実証に関する研究」

第4回日本ワクチン学会高橋賞(2009年)

田村 慎一 先生

「経鼻インフルエンザワクチンの基礎的研究」

第5回日本ワクチン学会高橋賞(2010年)

富樫 武弘 先生

「ワクチン接種で予防可能な小児期感染症の診断・治療・予防に関する研究」

第6回日本ワクチン学会高橋賞(2011年)

橋爪 壯 先生

「高度弱毒化細胞培養天然痘ワクチン LC16m8の開発」

第7回日本ワクチン学会高橋賞(2012年)

尾崎 隆男 先生

「水痘・帯状疱疹ウイルスの体内動態と水痘ワクチンの免疫原性に関する研究」

第8回日本ワクチン学会高橋賞(2013年)

廣田 良夫 先生

「インフルエンザワクチンの有効性に関する疫学研究」

第9回日本ワクチン学会高橋賞(2014年)

植田 浩司 先生

「風疹・先天性風疹症候群の疫学・臨床及び予防に関する研究」

第10回日本ワクチン学会高橋賞(2015年)

庵原 俊昭 先生

「各種ワクチン予防可能疾患の臨床免疫学および疫学の研究」

第11回日本ワクチン学会高橋賞(2016年)

平山 宗宏 先生

「ポリオ生ワクチン導入に始まる各種ワクチンの評価、
感染症サーベイランス事業等に関する研究」

第12回日本ワクチン学会高橋賞(2017年)

中山 哲夫 先生

「ワクチンの安全性に関する研究 —42歳からの基礎研究—」

第13回日本ワクチン学会高橋賞(2018年)

岡部 信彦 先生

「わが国の疫学研究に裏付けられた予防接種施策の推進
—臨床・ラボ・サーベイランス・行政の橋渡しとして—」

第14回日本ワクチン学会高橋賞(2019年)

喜田 宏 先生

「パンデミックインフルエンザワクチンの開発と実用化研究」

第15回日本ワクチン学会高橋賞(2020年)

俣野 哲朗 先生

「ウイルス持続感染防御・制御に結びつく細胞性免疫誘導ワクチンに関する研究」

第16回日本ワクチン学会高橋賞(2021年)

多屋 馨子 先生

「サーベイランスから対策へ ~ワクチンの有効性と安全性を両輪で考える」

第17回日本ワクチン学会高橋賞(2022年)

中野 貴司 先生

「わが国の予防接種行政と国際的なワクチン予防可能疾患対策への貢献」

第18回日本ワクチン学会高橋賞(2023年)

宮崎 千明 先生

「長年にわたる予防接種制度改正への寄与、
並びにワクチンの新規開発や副反応の臨床疫学的研究」

第19回日本ワクチン学会高橋賞(2024年)

岡田 賢司 先生

「百日咳の疾病負荷評価法および
乳児期における百日咳の重症化を予防するための百日せきワクチンに関する研究」

高橋奨励賞受賞者および受賞研究題名一覧

第1回日本ワクチン学会高橋奨励賞(2012年)

相内 章 先生

「経鼻投与型インフルエンザワクチンの実用化に向けて」

第2回日本ワクチン学会高橋奨励賞(2013年)

受賞者なし

第3回日本ワクチン学会高橋奨励賞(2014年)

受賞者なし

第4回日本ワクチン学会高橋奨励賞(2015年)

原 めぐみ 先生

「地域在住高齢者および施設入所高齢者におけるインフルエンザワクチンの有効性評価」

第5回日本ワクチン学会高橋奨励賞(2016年)

大藤 さとこ 先生

「ハイリスク集団におけるインフルエンザワクチンの免疫原性・有効性評価」

鈴木 忠樹 先生

「粘膜ワクチンで誘導される分泌型IgA抗体の多量体構造と機能の解析」

第6回日本ワクチン学会高橋奨励賞(2017年)

一戸 猛志 先生

「アジュバント併用経鼻インフルエンザワクチンに関する研究」

水上 拓郎 先生

「Systems Vaccinology によるワクチン及びアジュバントの次世代安全性評価法の開発」

第7回日本ワクチン学会高橋奨励賞(2018年)

國澤 純 先生

「粘膜ワクチンの実用化に向けた粘膜免疫システムの基礎的解明と
ワクチンデリバリー・アジュバントの開発」

第8回日本ワクチン学会高橋奨励賞(2019年)

木本 貴士 先生

「ヒトの生体成分肺サーファクタントの生理作用を利用した安全で有効な
新規粘膜アジュバント SF-10の開発」

第9回日本ワクチン学会高橋奨励賞(2020年)

君塚 善文 先生

「近赤外光を用いた物理的ワクチンアジュバントの開発」

吉岡 靖雄 先生

「感染症に対する次世代ワクチンの開発に向けたワクチン創製基盤技術の構築」

第10回日本ワクチン学会高橋奨励賞(2021年)

森野 紗衣子 先生

「ワクチンで予防可能な疾患にサーベイランスと血清疫学研究でアプローチする」

第11回日本ワクチン学会高橋奨励賞(2022年)

三輪 晴奈 先生

「ワクチン課題への取り組み

—抗体価の推移やムンプスワクチン接種後の液性免疫・細胞性免疫の検討」

八木 麻未 先生

「HPV ワクチンの有効性の多面的評価と再普及に向けた社会医学的・行動経済学的研究」

第12回日本ワクチン学会高橋奨励賞(2023年)

佐々木 永太 先生

「ゲノミクス技術を用いたアジュバントスクリーニング法構築と

それにより同定されたワクチンアジュバント開発」

鈴木 孝一朗 先生

「再興する百日咳の制御法確立に向けた新規ワクチン開発研究」

第13回日本ワクチン学会高橋奨励賞(2024年)

小檜山 康司 先生

「アジュバントを応用した新規ワクチン開発研究」

田村 恒介 先生

「サーベイランスから考える高齢者肺炎球菌ワクチン研究」

参加者へのご案内とお願い

■ 学会会場

ウインクあいち

〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅4丁目4-38

■ 参加受付

【当日参加登録】

ウインクあいち 6F 展示場 602-605

日 時：2024年10月26日（土）8:00～18:00

10月27日（日）8:00～15:30

※当日も原則オンラインでの参加登録をお願い申し上げます。

会場対面での参加登録も受付いたしますが、現金のみで受付いたします。

【事前参加登録】

事前参加登録期間：2024年 9月20日（金）正午～10月25日（金）正午まで

当日参加登録期間：2024年10月26日（土）～2024年10月27日（日）正午まで

※現地では10月27日（日）受付終了時間まで受付いたします。

受付方法：本会 HP「参加登録」よりお申込みしてください。

■ 参加登録料

参加区分	事 前	当 日
学会員	11,000円	13,000円
非学会員	13,000円	15,000円
学部学生 ^{*1}	2,000円	3,000円
懇親会	3,000円	

^{*1}学生の方は、申込時に学生証（写し）が必要です。予めご準備ください。

〈参加証（ネームカード）・領収書の発行について〉

参加証（ネームカード）および領収書の発行は学会場の総合受付（ウインクあいち 6F 展示場 602-605）で行います。オンライン登録において発行されたQRコードを印刷またはスマートフォンに保存の上、ご持参いただき、参加証（ネームカード）・領収書発券機にて発券をお願いいたします。

■ プログラム・抄録集

プログラム・抄録集をご希望の方へ、1冊3,000円にて販売いたします。
会員の方には事前に郵送でお送りしますのでご購入いただく必要はございません。
(両学会とも所属している場合でも、原則は一人1冊といたします。)
こちらは10月上旬の発送を予定しております。
会員以外の方でご希望の場合には、「WEB参加登録」ボタンより別途ご購入ください(3,000円)。
当日会場内「総合受付」にてお渡しいたします。(ネームカードとともに発券される引換券をお持ちください。)
会員の方で2冊以上の抄録集を希望される方は、追加に必要な冊数をご購入ください。

※学会参加はせず、抄録集の購読のみをご希望の場合は、購入冊数と郵送先を運営事務局までメールにてお知らせください。参加登録システムを経由していただく必要はございません。

■ 共催セミナーのご案内

ランチョンセミナー・モーニングセミナー・イブニングセミナーについて、整理券はありません。
直接会場にお越しください。

■ 取得可能な単位について

専門医制度ならびに日本薬剤師研修センターの単位が取得できます。最新情報は合同学術集会ホームページに掲載いたしますので、ご参照ください。

■ クローク

日 時：10月26日(土) 8:00～19:30
10月27日(日) 8:00～18:00

場 所：ウインクあいち 6F 展示場 601

※貴重品・傘・壊れ物はお預かりできかねますので、ご自身にて管理願います。

■ 企業等展示

日 時：10月26日(土) 9:30～18:00
10月27日(日) 9:00～15:30

場 所：ウインクあいち 6F 展示場 602-605

■ 懇親会

日 時：10月26日(土) 19:30～21:00

場 所：名古屋マリオットアソシアホテル 16F タワーズボールルーム

参加費：3,000円

■ お問い合わせ

運営事務局：株式会社 オフィス・テイクワン

〒461-0005 名古屋市東区東桜一丁目10番9号 栄プラザビル4階B号室

TEL：052-508-8510 FAX：052-508-8540

E-mail：jsvacjacv2024@cs-oto.com

発表についてのご案内

■ 座長の皆様へのお願い

- ご担当のセッション開始予定時刻の10分前までに会場内右前方の次座長席にご着席ください。
- プログラムは非常にタイトなスケジュールで行われます。計時装置をご用意いたしますので、円滑な進行管理をお願いいたします。

■ 演者の皆様へのお願い

- 次演者は、発表10分前までに会場内左前方の次演者席にご着席ください。

■ 発表時間・発表方法

セッション	発表時間
特別講演	質疑を含めて60分
シンポジウム	事務局より別途ご連絡いたします。
ランチョンセミナー	質疑を含めて50分
イブニングセミナー	質疑を含めて50分
高橋賞・高橋奨励賞 受賞記念講演	高橋賞：25分、高橋奨励賞：15分
学術集会若手奨励賞受賞者講演	発表7分／質疑3分
一般演題（口演）	発表7分／質疑3分

■ PC 受付について

発表者は、ご発表セッション開始予定30分前までにPC受付（ウインクあいち 6F 展示場 602-605）まで発表用メディアをご持参いただき、来場チェックを受けてください。

日 時：10月26日（土）8：25～17：00
10月27日（日）8：25～14：00

場 所：ウインクあいち 6F 展示場 602-605

- 1) 発表データは「Microsoft Power Point」で作成し、「USBメモリ」でご持参ください。また、発表用のファイル名は、「演題番号_演者氏名」としてください。
- 2) Macintoshや動画を使用される方はPC本体をお持ちください。いずれの場合も必ず他メディアにてバックアップをご準備ください。
- 3) 演台上にはモニター、キーボード、レーザーポインターをご用意致します。
- 4) 演台の計時装置にて、発表終了1分前に黄色ランプ、終了・超過と共に赤色ランプを点灯し、お知らせします。
- 5) 発表用データに他のデータ（静止画・動画・グラフ等）をリンクさせている場合は、必ず元データも保存し、事前に他のパソコンでの動作確認を行ってください。
万が一、リンク先が開けなかったり、動画が動かないなどの不具合が発生した場合は、自己責任のもと割愛いただき進行してください。
- 6) 事務局で用意したPC内にコピーした発表データにつきましては、発表終了後、学会事務局が責任を持って削除いたします。

【メディアをご持参される方】

当学会では下記使用のPCを準備しております。

- オペレーションシステム：Windows 11
- アプリケーションソフト：Microsoft Power Point 2021

- フォント：日本語、英語とも Microsoft 標準フォントをご使用ください。
- 画面解像度は XGA (1,024 × 768 ピクセル) です。このサイズより大きい場合、画面の周囲が切れてしまいますので、設定は必ず XGA としてください。
- 上記以外の環境で作成されたデータですとレイアウトの崩れ、文字化け等のトラブルが起きる可能性があります。予め会場内の PC 受付でご確認ください。

【PC 本体をご持参される方】

- 映像接続ケーブルは、D-sub15 ピン (ミニ) / HDMI を準備しております。それ以外をご使用の方は変換コネクタを忘れずにお持ちください。また、電源アダプタは必ずご準備ください。
- 無線 LAN 機能、スクリーンセーバー、省電力設定、ウイルスソフトなどのタスクスケジュール、ログオフ設定など、発表の妨げになる設定はご自身であらかじめ解除をお願いいたします。PC 受付での設定は致しかねますのでご了承ください。また、これらの機能により、発表に支障をきたした場合は、事務局では責任を負いかねます。
- PC 受付にてデータチェックを受けた後、発表15分前までに会場内オペレーター席へ PC をお持ちください。



■ 注意事項

- 発表に際し、個人が特定される可能性のある症例の氏名、イニシャル、ID 番号は発表しないようお願いいたします。
- 学術集会より許可のない方の、会場内およびオンデマンド配信時の写真・ビデオ撮影・録音等は禁止いたします。

■ 発表時における利益相反 (COI) の開示

共催セミナーを含むすべての発表に関し、筆頭演者および共同演者は、発表する研究内容に関連する過去3年間の利益相反の開示が必要となります。
詳細については、本会 HP (<https://cs-oto3.com/jsvacjacv2024/coi.html>) にてご確認ください。

■ 学術集会若手奨励賞

- 日本ワクチン学会では第23回大会より、日本臨床ウイルス学会でも第55回より、若手奨励賞を設け、学術集会において若手の優れた一般演題の発表を表彰してまいりました。両学会のこれまでの取り組みを統合して受け継ぐ形で、若手奨励賞の表彰を行います。
- 応募資格：筆頭演者が学術集会開始初日の時点で40歳以下、いずれかの学会の会員であること。
- 一般演題に抄録を登録し、若手奨励賞に応募された有資格者の中から合同学術集会として規定した審査委員による厳正な審査の結果、「臨床応用系・疫学系」から3名、「基礎研究系・製造開発系」から3名、計6名が合同学術集会 若手奨励賞の受賞者に選出されました。
- 受賞者は、合同学術集会 若手奨励賞受賞者講演セッション (11月26日 (土) 11:00 ~ 12:00 (第1会場：2F 大ホール)) にて口演発表を行っていただきます。
- 当日の口演発表を踏まえて、各カテゴリー1名ずつの最優秀賞を選考いたします。
- 合同学術集会 若手奨励賞6名 (最優秀賞2名を含む) の授賞式は、総会 (11月26日 (土) 13:10 ~ 14:10 (第1会場：2F 大ホール)) にて行います。
- 合同学術集会 若手奨励賞の受賞演題につきましては、本誌にてご確認ください。

会場へのアクセス



学会場

愛知県産業労働センター「ウインクあいち」

〒450-0002 名古屋市中村区名駅4-4-38 TEL:052-571-6131(代)

懇親会会場

名古屋マリOTTアソシアホテル 16F タワーズボールルーム

〒450-6002 名古屋市中村区名駅1-1-4 TEL:052-584-1111

愛知県産業労働センター「ウインクあいち」へのアクセス



電車を ご利用の場合

- JR名古屋駅桜通口から…ミッドランドスクエア方面 徒歩5分
- 各線地下鉄名古屋駅から…ユニモール地下街 5番出口 徒歩2分
- ※名駅地下街サンロードからミッドランドスクエア、マルケイ観光ビル、名古屋クロスコートタワーを經由 徒歩8分
- JR(東海道新幹線)をご利用の場合
 - ◎東京…約100分
 - ◎新大阪…約50分



お車を ご利用の場合

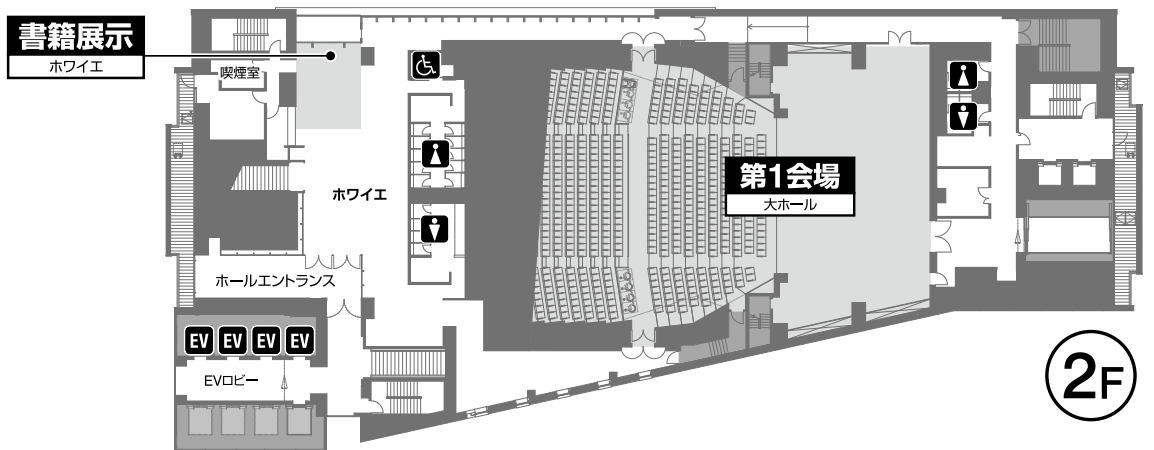
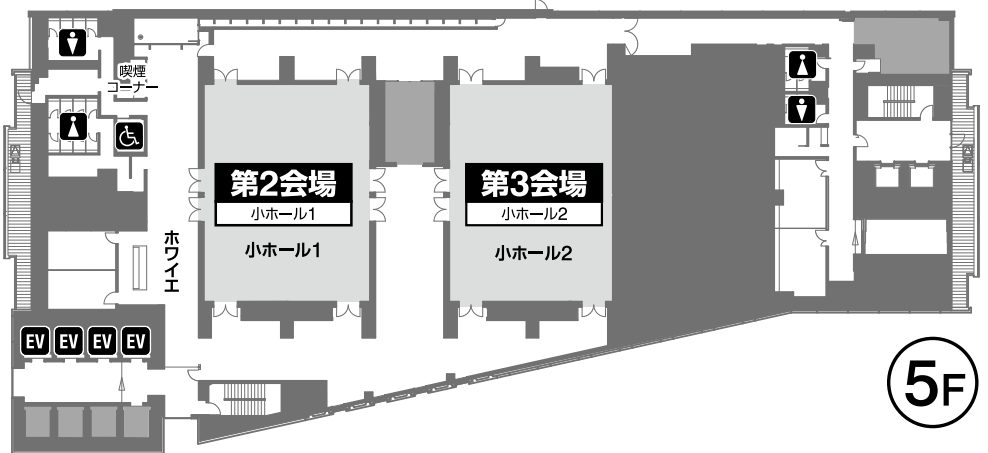
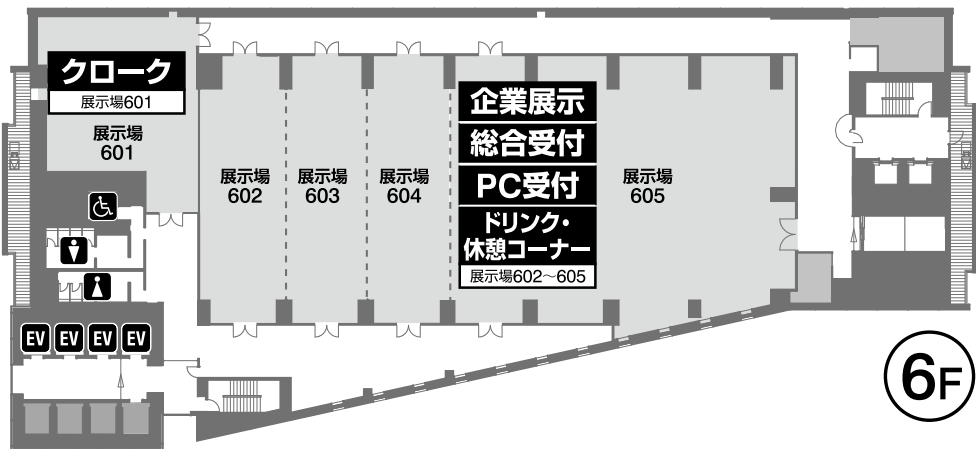
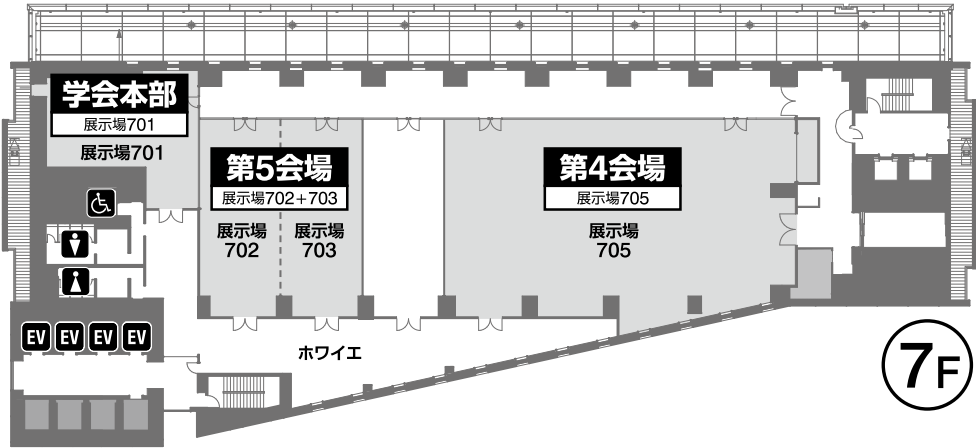
名古屋高速都心環状線「錦橋」出口より約6分
駐車場…収容台数123台



飛行機を ご利用の場合

- 中部国際空港(セントレア)から…約30分(名鉄空港特急利用、名鉄名古屋駅まで)
- 県営名古屋空港から…約20分(高速バス利用、ミッドランドスクエア前バス停まで)

会場案内



日程表 第1日目 10月26日(土)

	第1会場	第2会場	第3会場	第4会場	第5会場	企業展示
	2F 大ホール	5F 小ホール1	5F 小ホール2	7F 展示場705	7F 展示場702+703	6F 展示場602-605
9:00	9:00-9:20 開会式					
10:00	9:20-10:50 シンポジウム1 「これからのサーベイランス ～基礎から臨床まで～」 座長:菅田 健・安井 善宏 演者:吉田 弘・岸本 剛 西藤 成雄・菅田 健 ★	9:40-10:50 一般演題1 「水痘・带状疱疹」 座長:尾崎 隆男・河村 吉紀	9:40-10:40 一般演題2 「インフルエンザ・ HPVワクチン」 座長:佐藤 晶論・鈴木 高子	9:40-10:50 一般演題3 「ウイルス基礎」 座長:中山 哲夫・山田 雅夫	9:40-10:50 一般演題4 「ウイルス臨床」 座長:皆川 洋子・鈴木 道雄	9:30-18:00
11:00	11:00-12:00 合同学術集会 若手奨励賞受賞者講演 座長:中野 貴司・吉川 哲史					
12:00	12:10-13:00 ランチョンセミナー1 「予防戦略のパラダイムシフト: RSウイルス感染症について」 座長:福島 若葉 演者:中野 貴司 共催:サノフィ株式会社		12:10-13:00 ランチョンセミナー2 「これからの 小児のインフルエンザの 予防と課題」 座長:多屋 馨子 演者:齋藤 昭彦 共催:デンカ株式会社	12:10-13:00 ランチョンセミナー3 「小児における ワクチンの重要性 ～本年定期接種化された 五種混合ワクチンや、 インフルエンザ・ 新型コロナウイルス感染症 から考える～」 座長:佐藤 晶論 演者:大石 智洋 共催:田辺三菱製薬株式会社	12:10-13:00 ランチョンセミナー4 「COVID-19対策の 現状と今後の展望」 座長:神谷 元 演者:三嶋 廣繁 共催:アストラゼネカ株式会社	
13:00	13:10-14:10 総会 合同学術集会 若手奨励賞授賞式					企業展示
14:00	14:10-15:10 日本ワクチン学会 高橋賞・高橋奨励賞 受賞記念講演 座長:中野 貴司・谷口 清州					
15:00	15:20-16:20 特別講演1 「新型コロナウイルス等の進化の謎 ～エビデンスを超えた仮説的考察～」 座長:谷口 清州 演者:河岡 義裕 ☆					
17:00	16:30-18:00 シンポジウム2 「粘膜免疫・粘膜ワクチン」 座長:新藏 礼子・野阪 哲哉 演者:清野 宏・新藏 礼子 野阪 哲哉・河岡 義裕 ☆	16:30-19:30 ジョイント企画 日本小児科学会 第5回ワクチン忌避に対する 動機付け面接トレーニング ワークショップ(名古屋)	16:30-17:50 一般演題5 「麻疹・風疹・ムンプス」 座長:多屋 馨子・渡辺 正博	16:30-17:50 一般演題6 「新型コロナウイルス疫学」 座長:森内 浩幸・森野 紗衣子	16:30-17:50 一般演題7 「その他ワクチン基礎」 座長:西條 政幸・高橋 宜聖	
18:00	18:10-19:00 イブニングセミナー1 「感染症に不安を抱くことのない 社会の実現と地方衛生研究所の役割 ～ウイルス感染症を中心に」 座長:岡部 信彦 演者:四宮 博人 共催:武田薬品工業株式会社		18:10-19:00 イブニングセミナー2 「次世代mRNAワクチンの紹介と 新型コロナウイルスワクチンの 最新動向」 座長:原 めぐみ 演者:内藤 俊夫 共催:Meiji Seikaファルマ株式会社	18:10-19:00 イブニングセミナー3 「小児肺炎球菌ワクチンによる 免疫獲得の重要性」 座長:田中 敏博 演者:中野 哲志・後藤 研誠 共催:MSD株式会社	18:10-19:00 イブニングセミナー4 「小児・成人肺炎球菌 感染症予防の重要性」 座長:岩田 敏 演者:勝田 友博・舘田 一博 共催:ファイザー株式会社	
19:00						

★専門医制度:共通講習 ☆専門医制度:小児科領域

懇親会 19:30～ 会場:名古屋マリオットアソシアホテル16F

日程表 第2日目 10月27日(日)

第1会場	第2会場	第3会場	第4会場	第5会場	企業展示
2F 大ホール	5F 小ホール1	5F 小ホール2	7F 展示場705	7F 展示場702+703	6F 展示場602-605
8:30-9:20 モーニングセミナー1 「新規ワクチンによる 高齢者感染症の 予防戦略」 座長: 大石 和徳 演者: 丸山 貴也・中村 茂樹 共催: ファイザー株式会社		8:30-9:20 モーニングセミナー2 「Exploring the mechanisms of mRNA vaccination to drive next-gen innovation.」 座長: 土井 洋平 演者: David Alvarez 共催: モデルナ・ジャパン株式会社	8:30-9:20 モーニングセミナー3 「インフルエンザと COVID-19の ワクチンについての展望」 座長: 中野 貴司 演者: 池松 秀之 共催: 第一三共株式会社		9:00
9:30-10:30 特別講演2 Epstein-Barrウイルス: 古くて新しい病原体 座長: 西村 直子 演者: 木村 宏 ☆					10:00
10:40-12:10 シンポジウム3 「臨床ウイルス学における バイオインフォマティクスの活用」 座長: 堀場 千尋・吉川 哲史 演者: 兒子 真之・浦木 隆太 川崎 純菜・堀場 千尋	11:00-12:10 一般演題8 「呼吸器ウイルス感染症」 座長: 水田 克巳・橋本 浩一	11:00-12:10 一般演題9 「経鼻ワクチン」 座長: 長谷川 秀樹・幸 義和	11:00-12:10 一般演題10 「新型コロナワクチン臨床」 座長: 細矢 光亮・大藤 さとこ	11:00-12:10 一般演題11 「侵襲性インフルエンザ菌/ 肺炎球菌感染症・ ダニ媒介感染症」 座長: 原 紳也・谷 英樹	11:00
12:20-13:10 ランチョンセミナー5 「地域連携× 抗菌薬適正使用× ワクチン接種」 座長: 三輪 廣繁 演者: 武藤 義和・梅村 拓巳 共催: グラクソ・スミスクライン 株式会社 座長: 田中 敏博 演者: 宮入 烈 共催: KMバイオロジクス株式会社/ Meiji Seikaファルマ株式会社		12:20-13:10 ランチョンセミナー6 「混合ワクチンの功績とこれからの課題 ~世界的な視点で: 交互接種・ 接種経路・より有効で安全な ワクチンの在り方考える~」 座長: 尾崎 隆男 演者: 五味 康行 共催: 一般財団法人阪大微生物研究会	12:20-13:10 ランチョンセミナー7 「開発者が紡ぐ阪大微生物研究会の ワクチン~BIKENの90年~」 座長: 尾崎 隆男 演者: 五味 康行 共催: 一般財団法人阪大微生物研究会	12:20-13:10 ランチョンセミナー8 「新型コロナウイルス感染症における 知見と今後の対応 ~予防から治療までを考える~」 座長: 中野 貴司 演者: 永井 英明 共催: 塩野義製薬株式会社	12:00
13:20-14:50 予防接種推進専門協議会 共同シンポジウム 「Vaccine Hesitancyへの対応」 座長: 神谷 元・落合 仁 演者: Heidi Larson 齋藤 昭彦・石井 健 崎山 弘・田川 正人 ☆ 協賛: 予防接種推進専門協議会	13:20-14:20 一般演題12 「アジュバント」 座長: 城野 洋一郎・成瀬 毅志	13:20-14:20 一般演題13 「mRNAワクチン」 座長: 片山 和彦・城内 直	13:20-14:20 一般演題14 「新型コロナワクチン基礎1」 座長: 鈴木 忠樹・水上 拓郎	13:20-14:20 一般演題15 「急性脳炎・検査」 座長: 相澤 悠太・井平 勝	13:00
15:00-17:00 AMED SCARDA 連携シンポジウム 「mRNAワクチン」 座長: 五味 康行・菅 秀 演者: 位高 啓史・秋田 英万 高橋 宜聖・小河原 修 協賛: 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 先進的研究開発戦略センター (AMED SCARDA) ☆	15:00-16:30 シンポジウム4 「周産期領域感染症における 最近の話題」 座長: 川田 潤一・後藤 研誠 演者: 竹本 康二・大塚 菜緒 鳥居 ゆか・長澤 耕男	14:25-15:25 一般演題16 「ワクチン開発」 座長: 吉岡 靖雄・園田 憲悟	14:25-15:25 一般演題17 「新型コロナワクチン基礎2」 座長: 安井 文彦・渡邊 登喜子	14:25-15:35 一般演題18 「DPT/IPV・百日咳」 座長: 岡田 賢司・奥野 英雄	14:00
		15:40-16:30 一般演題19 「その他」 座長: 沼崎 啓・永淵 正法	15:40-16:40 一般演題20 「胃腸炎ウイルス感染症」 座長: 菅田 健・高梨 さやか		15:00
17:00-17:10 閉会式					16:00
					17:00
					18:00
					19:00

プログラム

プログラム

第1日目 10月26日(土)

第1会場(2F 大ホール)

開会の辞 9:00~9:20

シンポジウム1 9:20~10:50

座長：菅田 健(独立行政法人国立病院機構 三重病院 小児科)
安井 善宏(愛知県衛生研究所)

[これからのサーベイランス ~基礎から臨床まで~]

SY1-1 下水を用いたウイルスサーベイランス

○吉田 弘
国立感染症研究所

SY1-2 埼玉県における
急性呼吸器感染症(病原体)サーベイランスの取組み

○岸本 剛
埼玉県衛生研究所

SY1-3 臨床医の視点からの病原体サーベイランス
~ML インフルエンザ流行前線情報データベースなどの運用から学んだこと~

○西藤 成雄
西藤小児科こどもの呼吸器・アレルギークリニック

SY1-4 ガーナにおける感染症サーベイランスの構築

○菅田 健
独立行政法人国立病院機構 三重病院 小児科

合同学術集会若手奨励賞受賞者講演 11:00~12:00

第1会場(2F 大ホール)

座長：中野 貴司(川崎医科大学 小児科学)
吉川 哲史(藤田医科大学 医学部 小児科学)

YIA-1 次世代シーケンサーを用いた血球貪食性リンパ組織球症の病原体診断

○福田 悠人¹⁾、堀場 千尋²⁾、岩田 健一¹⁾、山口 慎¹⁾、鈴木 高子¹⁾、河邊 慎司³⁾、
鳥居 ゆか¹⁾、川田 潤一⁴⁾

1) 名古屋大学大学院 医学系研究科 小児科学、2) 国立感染症研究所 病原体ゲノム解析研究センター、
3) あいち小児保健医療総合センター 感染免疫科、4) 藤田医科大学 医学部 小児科学

YIA-2 乾燥組織培養不活化 A 型肝炎ワクチン(エイムゲン®)の接種回数と特異的抗体価の関係性の検討

○横 陽平¹⁾、江戸 直樹²⁾³⁾、水口 誠⁴⁾、池田 幹人⁴⁾、北野 誠人⁵⁾、北上 悦子¹⁾、長 盛親¹⁾、山元 翔太郎¹⁾、小川 卓範¹⁾、中村 好宏⁶⁾、川名 明彦¹⁾、君塚 善文¹⁾

1)防衛医科大学校 内科学講座(感染症・呼吸器)、2)防衛医科大学校 防衛医学研究センター 特殊環境衛生研究部門、3)防衛省 航空幕僚監部 首席衛生官室、4)自衛隊入間病院 保健部 衛生課、5)防衛医科大学校 防衛医学研究センター 行動科学研究部門、6)防衛医科大学校 医学教育部医学科 数学講座

YIA-3 不活化ウイルス全粒子インフルエンザワクチンの臨床試験検体の RNA-seq 解析による評価

○輿石 雄一¹⁾、大野 円実²⁾³⁾⁴⁾、遠藤 昌史⁵⁾、茨木 佳代⁵⁾、新開 大史¹⁾²⁾³⁾⁶⁾、喜田 宏¹⁾²⁾³⁾⁶⁾

1)北海道大学 人獣共通感染症国際共同研究所 ワクチン研究・開発部門、2)北海道大学 人獣共通感染症国際共同研究所 生物製剤研究開発部門、3)北海道大学 ワクチン研究開発拠点、4)北海道大学 One Health リサーチセンター、5)KM バイオロジクス株式会社、6)北海道大学 人獣共通感染症国際共同研究所 国際協働ユニット

YIA-4 気液界面培養を用いたヒト気道上皮培養モデルにおいてヒトボカウイルス 1 の共感染は RS ウイルスの増殖を促進する

○柿崎 正敏、白戸 憲也、梁 明秀

国立感染症研究所 ウイルス第三部

YIA-5 mRNA ワクチンにおける副反応誘導メカニズムの解析

○本田 昂湧¹⁾²⁾、清水 太郎²⁾³⁾⁴⁾、武村 直紀¹⁾、深田 宗一郎¹⁾、齊藤 達哉¹⁾⁵⁾⁶⁾、平井 敏郎¹⁾²⁾³⁾⁴⁾、吉岡 靖雄¹⁾²⁾³⁾⁴⁾⁵⁾⁶⁾⁷⁾

1)大阪大学大学院 薬学研究所、2)大阪大学微生物病研究所 ワクチン創成グループ、3)大阪大学先導的学際研究機構、4)大阪大学ワクチン開発拠点 先端モダリティ・DDS 研究センター、5)大阪大学国際医工情報センター、6)大阪大学感染症総合教育研究拠点、7)一般財団法人阪大微生物病研究会

YIA-6 ワクチン接種後の免疫応答と接種局所の炎症性サイトカインの関係についての新知見

○高木 友理子、幸脇 貴久、押海 裕之

熊本大学大学院 生命科学研究部

ランチョンセミナー1 12:10～13:00

共催：サノフィ株式会社

座長：福島 若葉(大阪公立大学大学院 医学研究科 公衆衛生学)

LS1 予防戦略のパラダイムシフト：RS ウイルス感染症について

中野 貴司 川崎医科大学 小児科学

座長：中野 貴司(川崎医科大学 小児科学)
谷口 清州(独立行政法人国立病院機構 三重病院)

第19回日本ワクチン学会高橋賞

百日咳の疾病負荷評価法および乳児期における 百日咳の重症化を予防するための百日せきワクチンに関する研究

岡田 賢司 福岡看護大学大学院 看護学研究科
福岡歯科大学医科歯科総合病院予防接種センター

第13回日本ワクチン学会高橋奨励賞

アジュバントを応用した新規ワクチン開発研究

小檜山 康司 東京大学医科学研究所 ワクチン科学分野

サーベイランスから考える高齢者肺炎球菌ワクチン研究

田村 恒介 富山県衛生研究所

特別講演1 15:20～16:20

座長：谷口 清州(独立行政法人国立病院機構 三重病院)

新型コロナウイルス等の進化の謎 ～エビデンスを超えた仮説的考察～

河岡 義裕 国立国際医療研究センター
東京大学国際高等研究所 新世代感染症センター
東京大学医科学研究所 ウイルス感染部門

シンポジウム2 16:30～18:00

座長：新藏 礼子(東京大学 定量生命科学研究所 免疫・感染制御研究分野)
野阪 哲哉(三重大学大学院 医学系研究科 感染症制御医学・分子遺伝学分野)

[粘膜免疫・粘膜ワクチン]

SY2-1 経鼻ワクチン研究開発の過去・現在そして未来

○清野 宏¹⁾²⁾³⁾

- 1) 千葉大学 未来粘膜ワクチン研究開発シナジー拠点(cSIMVa)、2) 千葉大学 未来医療教育研究機構、
3) カリフォルニア大学サンディエゴ校(UCSD) 粘膜免疫学・アレルギー学・ワクチン開発センター(cMAV)

SY2-2 IgA 多量体抗体による粘膜強化 —感染症の予防と治療—

○新藏 礼子

国立大学法人東京大学 定量生命科学研究所 免疫・感染制御研究分野

SY2-3 ヒトパラインフルエンザ2型ウイルスベクターを用いた経鼻ワクチン開発

○野阪 哲哉

三重大学大学院 医学系研究科 感染症制御医学・分子遺伝学分野

SY2-4 (半)生ウイルスをプラットフォームとした粘膜ワクチンの開発

○河岡 義裕¹⁾²⁾³⁾

1) 国立国際医療研究センター、2) 東京大学国際高等研究所 新世代感染症センター、
3) 東京大学医科学研究所 ウイルス感染部門

イブニングセミナー1 18:10～19:00

共催：武田薬品工業株式会社

座長：岡部 信彦(川崎市健康安全研究所)

ES1 感染症に不安を抱くことのない社会の実現と地方衛生研究所の役割 ～ウイルス感染症を中心に

四宮 博人 愛媛県立衛生環境研究所

第2会場(5F 小ホール1)

第5回ワクチン忌避に対する動機づけ面接トレーニングワークショップ(名古屋)

(第28回日本ワクチン学会／第65回日本臨床ウイルス学会合同学術集会ジョイント企画) 16:30～19:30

第3会場(5F 小ホール2)

ランチョンセミナー2 12:10～13:00

共催：デンカ株式会社

座長：多屋 馨子(神奈川県衛生研究所)

LS2 これからの小児のインフルエンザの予防と課題

齋藤 昭彦 新潟大学大学院 医歯学総合研究科 小児科学分野

イブニングセミナー2 18:10～19:00

共催：Meiji Seika ファルマ株式会社

座長：原 めぐみ(国立大学法人佐賀大学 医学部 医学科 社会医学講座)

ES2 次世代 mRNA ワクチンの紹介と 新型コロナウイルスワクチンの最新動向

内藤 俊夫 順天堂大学 医学部 総合診療科学講座

第4会場(7F 展示場705)

ランチョンセミナー3 12:10～13:00

共催：田辺三菱製薬株式会社

座長：佐藤 晶論(福島県立医科大学 医学部 小児科学講座)

LS3 小児におけるワクチンの重要性 ～本年定期接種化された五種混合ワクチンや、 インフルエンザ・新型コロナウイルス感染症から考える～

大石 智洋 川崎医科大学 臨床感染症学教室

イブニングセミナー3 18:10～19:00

共催：MSD 株式会社

座長：田中 敏博(JA 静岡厚生連静岡厚生病院 小児科)

[小児肺炎球菌ワクチンによる免疫獲得の重要性]

ES3-1 結合型肺炎球菌ワクチン導入後の小児肺炎球菌感染症の分子疫学と 薬剤耐性肺炎球菌について

○中野 哲志

国立感染症研究所・薬剤耐性研究センター

ES3-2 小児肺炎球菌感染症の予防

○後藤 研誠

江南厚生病院 こども医療センター

第5会場(7F 展示場702 + 703)

ランチョンセミナー4 12:10～13:00

共催：アストラゼネカ株式会社

座長：神谷 元(三重大学大学院 医学系研究科 公衆衛生分野)

LS4 COVID-19対策の現状と今後の展望

三嶋 廣繁 愛知医科大学 医学部 臨床感染症学講座

イブニングセミナー4 18:10～19:00

共催：ファイザー株式会社

座長：岩田 敏(東京医科大学 微生物学講座)

[小児・成人肺炎球菌感染症予防の重要性]

ES4-1 国内における小児侵襲性肺炎球菌感染症の疫学と予防

○勝田 友博

聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 小児科

ES4-2 超高齢社会における VPD の重要性を考える ～肺炎球菌ワクチンを中心に～

○館田 一博

東邦大学医学部 微生物・感染症学講座

第2日目 10月27日(日)

第1会場(2F 大ホール)

モーニングセミナー1 8:30～9:20

共催：ファイザー株式会社

座長：大石 和徳(富山県衛生研究所)

[新規ワクチンによる高齢者感染症の予防戦略]

MS1-1 成人における肺炎球菌感染症予防の重要性

○丸山 貴也
三重県立一志病院

MS1-2 高齢者におけるRSウイルス感染症予防の重要性

○中村 茂樹
東京医科大学 微生物学分野

特別講演2 9:30～10:30

座長：西村 直子(江南厚生病院 こども医療センター)

Epstein-Barr ウイルス：古くて新しい病原体

木村 宏 名古屋大学大学院 医学系研究科 ウイルス学

シンポジウム3 10:40～12:10

座長：堀場 千尋(国立感染症研究所 病原体ゲノム解析研究センター)

吉川 哲史(藤田医科大学 医学部 小児科学)

[臨床ウイルス学研究におけるバイオインフォマティクスの活用]

SY3-1 電子カルテのビッグデータを用いた感染症領域予測モデルの研究

○兒子 真之¹⁾²⁾³⁾⁴⁾
1)ヒューストン・メソディスト病院 感染症科、
2) Associate Professor of Clinical Medicine, Weill Cornell Medical College、
3) Adjunctive Associate Professor, School of Biomedical Informatics, UTHealth、4) 福井大学 客員教授

SY3-2 SARS-CoV-2の征圧を目指した基礎研究

○浦木 隆太¹⁾²⁾³⁾
1) 国立国際医療研究センター研究所 国際ウイルス感染症研究センター、
2) 東京大学国際高等研究所 新世代感染症センター、3) 東京大学医科学研究所 ウイルス感染部門

SY3-3 動物由来ウイルスのリスク評価に向けたバイオインフォマティクス技術の開発

○川崎 純菜
千葉大学大学院 医学研究院

SY3-4 次世代シーケンスによる感染症診断を通じて見る「臨床と WET と DRY の連携」

○堀場 千尋
国立感染症研究所 病原体ゲノム解析研究センター

ランチョンセミナー5 12:20～13:10

共催：グラクソ・スミスクライン株式会社

座長：三嶋 廣繁（愛知医科大学大学院 医学研究科 臨床感染症学）

[地域連携×抗菌薬適正使用×ワクチン接種]

LS5-1 地域全体を巻き込んだ取り組みの成人ワクチン接種の拡大への応用

○武藤 義和
公立陶生病院 感染症内科

LS5-2 地域の抗菌薬適正使用に向けた取り組みをきっかけとしたワクチン接種普及への展望

○梅村 拓巳
公立陶生病院 薬剤部

予防接種推進専門協議会 共同シンポジウム 13:20～14:50

座長：神谷 元（三重大学大学院 医学系研究科 公衆衛生・産業医学・実地疫学分野）
落合 仁（落合小児科医院）

[Vaccine Hesitancy への対応]

動画メッセージ 世界を取り巻く Vaccine Hesitancy の状況

○Heidi Larson
London School of Hygiene & Tropical Medicine

YS-1 日本小児科学会のワクチン忌避への対応と今後の課題

○齋藤 昭彦
新潟大学大学院 医歯学総合研究科 小児科学分野

YS-2 そのワクチン大丈夫？に答えるサイエンスとデザイン

○石井 健
東京大学 医科学研究所

協賛：予防接種推進専門協議会

YS-3 認知バイアスとワクチンの受療行動

○崎山 弘

医療法人社団 崎山小児科

YS-4 HPV ワクチン対象女性に対するコミュニケーションの重要性

○田川 正人¹⁾²⁾

1)田川小児科、2)大村市医師会

AMED SCARDA 連携シンポジウム 15:00～17:00

座長：五味 康行（一般財団法人阪大微生物病研究会／株式会社 BIKEN 技術研究センター）

菅 秀（独立行政法人国立病院機構 三重病院）

[mRNA ワクチン]

AS-1 mRNA を用いた新しい医療

○位高 啓史¹⁾²⁾

1)東京医科歯科大学生体材料工学研究所 生命機能医学分野、
2)大阪大学感染症総合教育研究拠点 (CIDER) 臨床生命工学チーム

AS-2 RNA ワクチンに貢献する LNP のデザインと免疫制御機能

○秋田 英万¹⁾²⁾

1)東北大学大学院 薬学研究科、2)大阪大学微生物病研究所 先導的学際研究機構

AS-3 ヒト免疫学からみた mRNA ワクチンの特性

○高橋 宜聖

国立感染症研究所 治療薬・ワクチン開発研究センター

AS-4 今後の mRNA ワクチン開発

○小河原 修

モデルナ・ジャパン株式会社 臨床開発 感染症領域

協賛：国立研究開発法人日本医療研究開発機構 先進的研究開発戦略センター（AMED SCARDA）

第2会場(5F 小ホール1)

シンポジウム4 15:00～16:30

座長：川田 潤一(藤田医科大学 医学部 小児科学)
後藤 研誠(江南厚生病院 こども医療センター)

[周産期領域感染症における最近の話題]

SY4-1 妊婦における先天性および周産期感染症の抗体保有状況

○竹本 康二
江南厚生病院 こども医療センター

SY4-2 百日咳の最新トピックス

○大塚 菜緒
国立感染症研究所 細菌第二部

SY4-3 先天性サイトメガロウイルス感染症の過去・現在・未来

○鳥居 ゆか
名古屋大学 医学部 小児科

SY4-4 新生児 RSV 感染症に対する新たなアプローチ

○長澤 耕男
千葉大学医学部附属病院 小児科

第3会場(5F 小ホール2)

モーニングセミナー2 8:30～9:20

共催：モデルナ・ジャパン株式会社

座長：土井 洋平(藤田医科大学 医学部 微生物学講座・感染症科)

MS2 Exploring the mechanisms of mRNA vaccination to drive next-gen innovation

David Alvarez, PhD Director, Immunology-Infectious Disease Research, Moderna, Inc.

ランチョンセミナー6 12:20～13:10

共催：KM バイオロジクス株式会社/Meiji Seika ファルマ株式会社

座長：田中 敏博(JA 静岡厚生連静岡厚生病院 小児科)

LS6 混合ワクチンの功績とこれからの課題 ～世界的な視点で、交接種、接種経路、 より有効で安全なワクチンの在り方を考える～

宮入 烈 浜松医科大学 小児科学講座

第4会場(7F 展示場705)

モーニングセミナー3 8:30～9:20

共催：第一三共株式会社

座長：中野 貴司(川崎医科大学 小児科学)

MS3 インフルエンザと COVID-19のワクチンについての展望

池松 秀之 日本臨床内科医会 インフルエンザ研究班

ランチョンセミナー7 12:20～13:10

共催：一般財団法人阪大微生物病研究会

座長：尾崎 隆男(江南厚生病院 こども医療センター)

LS7 開発者が紡ぐ阪大微生物病研究会のワクチン ～BIKENの90年～

五味 康行 一般財団法人阪大微生物病研究会/株式会社 BIKEN

第5会場(7F 展示場702 + 703)

ランチョンセミナー8 12:20～13:10

共催：塩野義製薬株式会社

座長：中野 貴司(川崎医科大学 小児科学)

LS8 新型コロナウイルス感染症における知見と今後の対応 ～予防から治療までを考える～

永井 英明 国立病院機構東京病院 感染症科

一般演題 プログラム

第1日目 10月26日(土)

一般演題1 9:40～10:50

第2会場(5F 小ホール1)

[水痘・带状疱疹]

座長：尾崎 隆男(江南厚生病院 こども医療センター)

河村 吉紀(藤田医科大学 岡崎医療センター 小児科)

O1-1 水痘ワクチン定期導入後の抗体陽性率推移について

○菊池 均¹⁾、宮津 光伸¹⁾、永田 俊人¹⁾、三原 由佳¹⁾、後藤 泰浩²⁾

1)名鉄病院、2)総合上飯田第一病院

O1-2 水痘ワクチン定期接種化後の breakthrough varicella の疫学変化と臨床像解析

○服部 文彦¹⁾²⁾、小澤 慶²⁾、三浦 浩樹²⁾、河村 吉紀²⁾³⁾、吉川 哲史²⁾

1)豊川市民病院 小児科、2)藤田医科大学 医学部 小児科学、3)藤田医科大学 岡崎医療センター 小児科

O1-3 水痘と水痘带状疱疹ウイルス(VZV)関連中枢神経感染症患者におけるVZVの分子疫学的解析

○東本 祐紀¹⁾、河村 吉紀²⁾³⁾、三浦 浩樹²⁾、小澤 慶²⁾、服部 文彦⁴⁾、井平 勝⁵⁾、吉川 哲史²⁾

1)藤田医科大学 医療科学部 感染制御学分野、2)藤田医科大学 医学部 小児科、3)藤田医科大学 岡崎医療センター 小児科、4)豊川市民病院、5)藤田医科大学 医療科学部 診断支援機器科学分野

O1-4 神奈川県内の水痘入院例患者から検出された水痘带状疱疹ウイルスのワクチン株と野生株の分別

○佐野 貴子¹⁾、小松 洋介²⁾、伊藤 淳³⁾、鈴木 堯大⁴⁾、鈴木 理恵子¹⁾、渡邊 寿美¹⁾、大屋 日登美¹⁾、山田 壮一⁵⁾、多屋 馨子¹⁾

1)神奈川県衛生研究所、2)横浜労災病院 小児科、3)小田原市立病院 小児科、4)済生会横浜市東部病院 小児科、5)国立感染症研究所 ウイルス第一部

O1-5 COVID-19ワクチン接種後の高齢者における水痘・带状疱疹ウイルスIgG価の変動

○板持 雅恵、矢澤 俊輔、佐賀 由美子、畠田 嵩久、福山 圭、大石 和徳、谷 英樹

富山県衛生研究所

O1-6 名古屋市带状疱疹ワクチン4年間の実績と評価

○宮津 光伸、三原 由佳、永田 俊人、菊池 均

名鉄病院予防接種センター

O1-7 レセプトデータベースを用いた带状疱疹ワクチンの有効性検討：VENUS Study

○村田 典子

九州大学大学院 医学研究院 医療経営・管理学講座

特別講演1

10月26日(土) 第1会場 15:20～16:20

新型コロナウイルス等の進化の謎 ～エビデンスを超えた仮説的考察～

河岡 義裕

国立国際医療研究センター
東京大学国際高等研究所 新世代感染症センター
東京大学医科学研究所 ウイルス感染部門

座長：谷口 清州（独立行政法人国立病院機構 三重病院）

一般演題

第1日目 10月26日(土) AM

一般演題1 第2会場 9:40~10:50

水痘・带状疱疹

01-1~01-7 座長: 尾崎 隆男 (江南厚生病院 こども医療センター)
河村 吉紀 (藤田医科大学 岡崎医療センター 小児科)

一般演題2 第3会場 9:40~10:40

インフルエンザ・HPV ワクチン

01-8~01-13 座長: 佐藤 晶論 (福島県立医科大学 医学部 小児科学講座)
鈴木 高子 (名古屋大学大学院 医学系研究科 小児科学)

一般演題3 第4会場 9:40~10:50

ウイルス基礎

01-14~01-20 座長: 中山 哲夫 (北里大学 大村智記念研究所)
山田 雅夫 (新見公立大学)

一般演題4 第5会場 9:40~10:50

ウイルス臨床

01-21~01-27 座長: 皆川 洋子 (さくら総合病院(元 愛知県衛生研究所))
鈴木 道雄 (安城更生病院 小児科)

第28回日本ワクチン学会・
第65回日本臨床ウイルス学会 合同学術集会
プログラム・抄録集

発行日 2024年10月3日

発行責任者 谷口 清州、西村 直子

編集 株式会社 オフィス・テイクワン

印刷・製本 株式会社セカンド

※本誌に掲載の内容を許可なく複写、複製することを禁じます。

臨床とウイルス (季刊)

Vol. 52 No. 3

2024年10月3日 発行

定価 3,000円(税込)

別途送料がかかります。

- 日本臨床ウイルス学会の年会費(¥10,000)を前納された方に本誌をお送りいたします。
- 年会費領収書は発行いたしません。
- 年会費払い込み記録は必ずご保存ください。

発行者 中山 哲夫

発行所 日本臨床ウイルス学会

〒108-8641 東京都港区白金5-9-1

北里大学大村智記念研究所内

Tel: 03-5791-6269

Fax: 03-5791-6130

E-mail: cl.cirol@kitasato-u.ac.jp

©2024 日本臨床ウイルス学会 本誌の内容の無断転載を禁じます。

●本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は、日本臨床ウイルス学会および日本ワクチン学会が保有します。本誌の無断複写は、著作権法上での例外を除き禁じられています。本誌を複写される場合は、そのつど事前に一般社団法人学術著作権協会(Tel 03-3475-5618, Fax 03-3475-5619)の許諾を得てください。